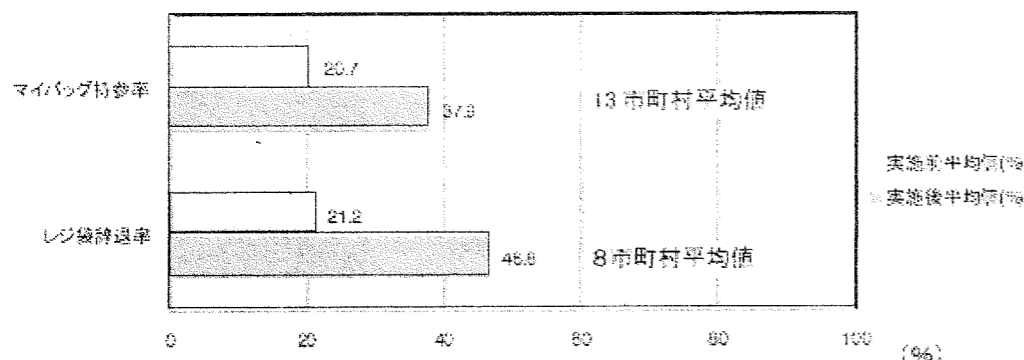


レジ袋有料化

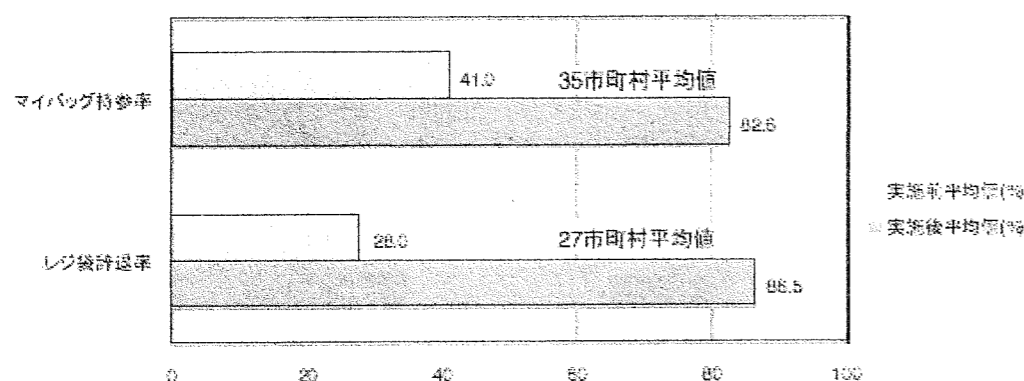


近所の大型スーパーで、レジ袋が有料になりました。それまではレジ袋を辞退すると割引の特典がありました。有料化したことでレジ袋削減の効果はアップするのでしょうか？下のグラフは平成20年度の環境省による調査結果です。

特典提供方式によるマイバッグ持参率とレジ袋辞退率の効果



レジ袋有料化によるマイバッグ持参率とレジ袋辞退率の効果



グラフからもわかるように、レジ袋削減の手段として、地域通貨や商品券・割引券等「特典提供方式」が実施された時も、削減効果がある事が見てとれます。さらに有料化が実施されると、レジ袋辞退率やマイバッグ持参率が80%を越える等、レジ袋の高い削減効果が見られます。

レジ袋の原料は石油であるため、使用を控えることはゴミの発生抑制だけでなく化石燃料資源の節約につながります。現在、日本ではレジ袋は年間使用枚数が300億枚（1人1日約1枚）にも上るそうです。最近では、マイバック持参で買い物をする人をよくみかけるようになりましたが、年間の使用量をみるともっと削減可能なようです。レジ袋有料化でさらなる効果を期待し、私も度々あるマイバックのうっかり忘れに気をつねばと思っています。

【参考資料】 http://www.env.go.jp/recycle/yoki/c_1_questionnaire/questionnaire_02.html

しろくま教室 ～香椎小学校の巻～

11月22日（金） 香椎小学校5年生の皆さんに、しろくま教室として鍋炊飯を体験してもらいました。体育館で一斉に100名近くの児童による鍋炊飯は初めての試みでしたので、先生やスタッフとの事前うち合わせや試行など、できる限りの準備で当日に臨みました。

香椎小学校5年生では、総合学習でペットボトルイネの栽培に取り組んでおられ、ひとりひとりが種まきからずっとイネを育ててきました。その延長上として、家庭科で実施すべき炊飯の授業とリンクする形で私たちは受け持たせていただいたのです。

授業の流れと様子

▶1時間目……………座学+実演による炊飯の行程確認

なぜ暮らしの中のエコが必要なのか、鍋炊飯のメリット、田んぼの働きなどを、パワーポイントによる説明を聞きつつ、自分たちの収穫した米を炊飯する様子を確認するというのを同時並行で行いました。



▶2時間目……………各班ごとに炊飯と簡単みそ汁づくり

着火消火係、タイマー係、記録係、みそ汁係など、それぞれが自分の仕事を果たしながら炊飯し同時に簡単みそ汁も作りました。

▶3時間目……………配膳 試食 あとかたづけ

班ごとに試食を楽しみました。また、国産割り箸や古布ティッシュについて説明を聞きました。



ごはんが炊けた



いただきます

今回の授業づくりを通して、エコけんにも多くの収穫がありました。やってみることで学ぶのは子ども達だけではありません。また、授業中の生き生きとした子ども達の様子や発言に励まされたりもしました。このような機会をいただいたこと、そして寄付を通して私たちに応援してくださっている方々に改めて感謝の気持ちを深くした次第です。

※ エコけん facebook でも最新記事をタイムリーに公開しています。ぜひ、ご覧ください。

るんるん♪ごみ拾い in まつり古賀 11月17日(日)

エコけん1%クラブは「1日8時間の1%（およそ5分）をボランティアにあてませんか」と呼びかけています。11月は、まつり古賀に『るんるん♪ごみ拾い』のブースを出店しました。

『るんるん♪ごみ拾い』って、なあに？

るんるん♪ごみ拾いはイベント応援隊。ゲームごみ拾いでイベント会場をきれいにします。イベント来場者に、会場内のごみ拾いを15分程度お願いします。参加者は、イベントを楽しみながら、会場をきれいにし、かえるポイントをゲットします。かえるポイントは、当日エコけんが持参したおもちゃや粗品と交換したり、今後のかえっこショップで使うこともできます。また、終了後くじを引き、そこに書いてあるものを拾ってきていたらボーナスポイントもゲット！で、楽しさ倍増です。



まつり古賀出展は今回で4回目となり、嬉しいことにリピーターさんも数名見られました。午前中は小雨が降り寒い1日でしたが、46名の参加があり、たくさんのごみを拾っていただきました。

《Yっち》

つれづれ草枕 11月

白鳥はかなしからずや

山の幸海の幸にて飛べずさまよう 《日女》

山の幸も海の幸も里の幸も、みんな違ってみんな美味しい。

みんな食べ過ぎ、みんなメタボ！



雨天中止

次回のぼらんず ※ぼらんずとは、毎月のボランティア活動です。

1月10日(金) 15:00~1時間程度 エコロの森周辺



未来を創るうインタビュー

No.32 (一財)省エネルギーセンター九州支部事務局長

村上 直美 氏

一般財団法人省エネルギーセンター九州支部事務局長の村上直美さんにお話しをうかがってきました。省エネルギーセンターは、①工場、ビル、店舗等施設の省エネ・節電推進、CO₂削減 ②家庭、地域等における省エネ活動の支援 ③省エネ関連人材の育成・活動の支援 ④省エネ国際協力の推進 ⑤省エネの専門資格者に係る国家試験等の実施 を主な活動とされる全国組織です。エコけんスタッフも、「省エネルギー普及推進員」「家庭の省エネエキスパート」の資格を同センターからいただいていますし、「家庭の省エネ大事典」は省エネ情報確認の必携です。

私たちに最も身近なところにある九州支部は、スタッフ8名の和気藹々の家族的雰囲気なのだそうです。事務局長の穏やかなお人柄がその中心にあるのかもしれませんが。ご家庭での省エネについてお尋ねすると、ご家族それぞれに気になるところが異なるそうで、村上さんは節電に、奥さまは節水について熱心になってしまうと笑っておられました。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. いずれは原子力発電所はゼロになる可能性がある。ただ、今すぐゼロにするとエネルギーコストの面から、日本経済が破綻するおそれがある。経済と環境を両立する必要性を感じている。

Q. ご自身の暮らしの中で心がけておられること

A. 無理のない程度で継続的に家庭や職場で節電を心がけている。

未来を創るメッセージ

一人の力は大きなことではないが、
多数の力は人数以上の力を産む

経済、環境、そして社会の調和のもとに、持続可能な社会は拓かれていきます。「経済との両立」という言葉をいただき、改めて考えさせられた時間でした。

《S》



仮認定 NPO 法人



〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13
TEL/FAX 092-944-6450 [mail]eco_ecoken@ybb.ne.jp
[HP]http://www.10.ocn.ne.jp/~ecoken